こんな活動です

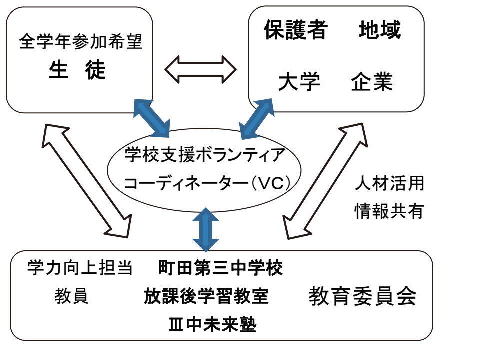
# タブレット端末を活用した放課後学習教室 ～学校・地域協働の学力向上推進～

| 東京都町田市 | ● 活動名 | ● 関係する学校名 |
|---|---|---|
| | 町田第三中学校「Ⅲ中未来塾」 | 町田市立町田第三中学校 |

| 開始年度 | 平成 28 年度 | 学級数 | 12 学級 | 生徒数 | 414 人 |
|---|---|---|---|---|---|
| 主な実施形式 | ■個別指導 □授業形式 □自習<br>□グループ学習 □その他（ ） | | | 生徒の参加人数 | 平均人数<br>22 人 |
| 統括的な地域学校協働活動推進員の数 | 配置人数<br>0 人 | 地域学校協働活動推進員の数 | 配置人数<br>2 人 | 実施場所 | 施設名：中学校<br>実施場所：学習室 |
| ボランティアの数 | 登録人数<br>28 人 | 属性 | 保護者、大学生、地域協力者、元教員 | | |
| 参考 URL | http://www.machida-tky.ed.jp/j-machida3/ | | | | |

● 連絡先 町田市立町田第三中学校 ☎ 042-722-6095

● 体制図




● 活動の概要・経緯

従来から、少人数の生徒を対象に不定期に実施されていた放課後学習教室は、平成 28 年度のタブレット端末導入を機に、全学年の希望生徒を対象に、平日の放課後毎日開催することとした。その結果、参加生徒が一日平均 22 名と大幅に増加したことに伴い、学習支援員及び生徒の出欠や機器貸し出しを行う学習ボランティアを、地域学校協働活動推進員 ( 学校支援ボランティアコーディネーター「VC」) が多数募集し、配置した。文部科学省の地域未来塾として発足後、地域人材の発掘に VC が尽力し、現在安定した運営が行われている。特に定期考査前には、未来塾に登録していない生徒も、未来塾生とともに積極的に自習を行い、学力向上に努めている。

## ● 活動の特徴・工夫

**【特徴的な活動内容】**

放課後学習教室に、タブレット端末を使用していることで、生徒が積極的に応募しており、明るい雰囲気で前向きに取り組めている。特に、タブレット端末には、ベネッセが開発した学習ソフトが入っており、そのソフトには、小学校の学習内容も含まれていることから、各生徒が、既習事項で分からなくなっているところまで立ち戻り、各自のペースで学習できることが最大の特徴である。生徒の出欠確認や機器の貸し出し等については、保護者や地域の方のボランティアで行っている。実際の学習指導は、地域の教育関係者（元教員や塾講師等）や大学生が行っている。VC は、近隣の大学に連絡したり、卒業生の保護者へ連絡したりするなどで地域人材の確保に努めている。

**【実施にあたっての工夫】**

実施教科は、基本的には、国語・社会・数学・理科・英語で、タブレット端末の学習ソフトを活用している。しかし、タブレット端末は 20 台と限られているため、参加人数の多い曜日では、時間を分けて持参してきたワークや宿題を行うことも推奨している。実施は、月曜日から金曜日の放課後 75 分間としており、全学年の生徒から希望を募り、随時募集している。各曜日の参加人数にばらつきがあるため、VC には、参加人数の多い曜日への学習ボランティアを多く配置することを依頼しており、生徒の学習効果を高めるようにしている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

人材確保だけではなく、ボランティアの登録や登録後の事務手続き等、VC の継続的な関わりが、教職員の負担軽減につながっている。また、ボランティア活動の改善点や要望なども、VC が聞き取り、その内容を、教職員で共有することで、より良い学習環境を整えることができている。Ⅲ中未来塾に参加している生徒の声「タブレットを使った学習は分かりやすく、楽しく勉強ができる。書き直しが簡単で、紙のドリルより勉強しやすい。」「小学校の勉強も復習でき、苦手なところを克服できた。」保護者の声「タブレットを使用した学習に参加させたい。」ボランティアの声「真面目に学習しており、生徒の意欲が感じられる。」

## ● その他

企業との連携・・・株式会社ベネッセコーポレーション　学習ソフト「未来シード」をタブレット端末にインストールしており、ソフトの操作・活用方法を共有している。／ ICT 活用・・・学習形態は、タブレット端末にインストールされている学習ソフトを活用し、各自の学習進度に応じて学習を進めている。また、各自の学習の記録が個別にサーバに保存されるため、1 人 1 人の学習状況を把握することが容易にできる。

タブレットでの解法を学習ボランティアが丁寧に補足説明。

小学生が未来塾体験。中学生ボランティアも大活躍。

ポイント

タブレット端末を使用して学校の授業とは違う学習方法で取り組んでいる好事例です。小学校の振り返りも含めた個別の進度に合わせた学習を展開したり、学習記録の保存や把握をしたりしている点が素晴らしいです。